

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	金沢大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カナザワダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	中部地方(愛知県を除く)
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	自然システムキャリア実習
	学部・研究科等名	自然科学研究科
	担当教職員名・役職	金森正明(講師), 松郷誠一(教授), 瀧健太郎(准教授), 平松良浩(教授)
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	18
受入企業等数	14	
受入企業等名	企業の詳細を得ていないため、記載しない	
インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	県内外の民間企業や自治体などへ赴き、実習先が用意した就業体験を行うことにより、自己の職業適性や職業選択について深く考える契機としている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	大学院1年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位または2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1単位の場合は1週間以上、2単位の場合は2週間以上の実習期間が必要(原則)
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの心構え、社会人としてのマナー(服装、姿勢、挨拶)、ビジネスマナー(電話対応、名刺交換、メール)、守秘義務の遵守(SNSマナー)について、就職支援室のガイダンスで指導している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ全体の感想や、インターンシップに臨むにあたって自分がたてた目標とその達成度、反省点などを報告書にまとめるよう促している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	インターンシップの実施後に報告書の作成を行い、学生の意識や行動の変容について確認を行っている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	同上

要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5-10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業により異なるが、主として1週間(実稼働5日間)又は2週間(実稼働10日間)のインターンシップを実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習期間や実習内容を記載したうえで、学生の实習状況を5段階で評価してもらい、気づいた点や学生へのコメントをいただいている。(記入用の用紙「インターンシップ実施状況報告書」を実習前に渡している)
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx
問い合わせ先	大学等名	金沢大学
	担当部署名	理工系事務部学生課学生係
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	076-234-6838
	メールアドレス	s-gaku@adm.kanazawa-u.ac.jp